三

X
030
F
オ-34
Kitasato Memorial Medical Library

阿蘭陀菜油製法并圖序

夫瘍医之要者必在于先煉膏以療瘡瘍而其煉膏也亦必非先用油則不能矣其得油也亦又非先知其法則不能矣焉則取油之法不可不素知焉蓋紅毛夷人之施治也多取草木花実金石鳥獸之油而或塗擦之或數貼之実生肉与骨之妙亦不可勝尽焉往時先師任于長崎而親炙夷人搜索取油之法且詳其主治而来于京師鳴於當世予亦因先師之所傳而得熟聞其法也而其為法也甚難其為器也尤奇今欲学此術者苟欲煉

499.5
Or
慶應義塾大學醫學部北里圖書
No 3242
1日 0 30
慶応義塾大学医学情報センター 昭和47年7月17日
富士川文庫
3361

Kitasato Memorial Medical Library

意則不得不用其油則不得不知其法假令知其法亦不知其主治則其不能施治也必矣是故詳明其法且図其器條録其主治也願其爲書華皆夷人之方言而讀者尤不易曉故逐一以国字註歟使同志者不待訳而自得焉耳於是序

旹元禄丙子春三月吉旦

蒸油目録

草之部 凡二十四種

一 オヽリヨノクウンスカアト 肉豆蔻油　二 オヽリヨカモメリ 野菊花油

三 オヽリヨレリヨウロン 白百合油　四 オヽリヨロサアロン 茨花油

五 オヽリヨメンテノ 薄荷油　六 オヽリヨイリヨウス 白歛油

七 オヽリヨアブセンテヨム 茵蔯油　八 オヽリヨイツヘリコン 乙切草油

九 オヽリヨアニイン 小茴香油　十 オヽリヨルイト オルタ草油

十一 オヽリヨソラアウロン 小茄子油　十二 オヽリヨヒイテ 三七草油

十三 オヽリヨモンシクウン ヱヱシ呂油　十四 オヽリヨフンケレコイト 附子油

十五 オヽリヨアルクミシイヤ 蓮油　十六 オヽリヨカリロウト ホウク草油

十七 オヽリヨケヒル 生姜油　十八 オヽリヨカルヒイ 小茴香類

十九 オヽリヨリイ子 胡广仁　二十 オヽリヨロウズマリイチ 阿蘭草油

二十一 オヽリヨスカウルテヨン 同　二十二 オヽリヨサルサフレル 同草根油

二十三 オヽリヨフランタアコ 車前草油　二十四 オヽリヨフンケル イシカノ油

二 木之部 凡廿一種

廿五 オヽリヨソクシ子 琥珀油 廿六 オヽリヨテレカンテイナ 杉脂

廿七 オヽリヨナフガラ 丁子油 廿八 オヽリヨセイラ 蝋

廿九 オヽリヨアフランシヤウロン 陳皮油 卅 オヽリヨヘツウロラヘンド 苦アメンドス油

卅一 オヽリヨスロウウアミント 常斉蘭 卅二 オヽリヨラウリイ子 黒木葉油

卅三 オヽリヨシナモヽ 肉桂油 卅四 オヽリヨセ子イル 杜松実油

卅五 オヽリヨサンフウレフレイル 蓖麻油 卅六 オヽリヨケレイムスタルダアリ 蕪菁薄ノ油

卅七 オヽリヨカルテラフルレ 榧子油 卅八 オヽリヨスヒワセイ 脂ノ油

卅九 オヽリヨヘ子イキリ 大茴香油 四十 オヽリヨイヘリヒノ子ヒ 芝栁葉

四十一 オヽリヨカンフル 樟脳油 四十二 オヽリヨキヨミカス 木八油

四十三 オヽリヨフルテンツヒヒレイテレ 佛手柑油 四十四 オヽリヨハルサン 未詳

四十五 オヽリヨホンツホンリヨン 未詳

三 金石土之部 凡七種

四十六 オヽリヨヨヽラ 金油 四十七 オヽリヨアヽルト 土油

四十八 オヽリヨホロンヘイ 鉛ノ油 四十九 オヽリヨヒツフルヨウロン 丹孔油

五十 ヲヽリヨスツアフル 硫黄油 五十一 オヽリヨヘアイタラ 石油

五十二 オヽリヨスルフル 銀油

四 禽之部 凡八種

五十三 アキフキヤカラアン 五十四 オヽリヨガンス 广油

五十五 オヽリヨヘルキインテ 五十六 オヽリヨホンシトロヘツテ 雞油

五十七 オヽリヨシハアロン 雞卵油 五十八 アキツキヤイニテノ 家鴨

五十九 アキツキヤスワアン 白鳥 六十 アキツキヤトヒヽ 鳩

六十一 アキハキヤウルトウルマ 猪脂油 六十二 オヽリヨハルコメイル 家猪油

五 獸之部 凡 八種

六十三 オヽリヨカイテノ 牛脂油 六十四 アキツキカヽイルカアル 熊ノ油

六十五 オヽリヨホイス 狐脂油 六十六 オヽリヨタワス 狸脂油

六十七 オヽリヨホント 犬ノ油 六十八 オヽリヨアフフ 猿油

六 虫之部 凡 五種

六十九 オヽリヨテイシエンコン 蜈蚣油 七十 オヽリヨリンフリロウロン 蚯蚓油

七十一 アキフキヤスランカ 蛇油 七十二 アキツキヤケフキオルス 蝦蟆油

七十三 オヽリヨクレイヘイレ 眞蛇油

七 ワアトルノ類 水等ヲ云 凡 九種

七十四 ワアトロサアロン 白莢花ノ水 七十五 ワアトロアキリモウニヤ 鹿燒水

七十六 ワアトロロウスナ 蓬葉水 七十七 ワアアロアニイン 小茴香水

七十八 ワアトロアランセウロン 陳皮ノ水 七十九 ワアトロマチルヽルハ 金銀花水

八十 ワアトルメンテヤセン 車前草水 八十一 ワアクルヲフワウカ 川芎水

八 修合油主治之類

八十二 ワアトルヒヨウラス 駒引水

八十三 焚腫方 八十四 温和寒痛方

八十五 伸筋方 并 轉筋 八十六 打撲和痛方

Kitasato Memorial Medical Library

八十七 治手足之筋攣汗歩艱難方
八十八 一切金瘡生兵方
八十九 石淋用方
九十 阿蘭陀方言菜鐚和解
取油器之図并寸法

菜油目次終

東京帝國大學醫學部圖書

一 草油類

一 ヲヽリヨノフヲンスカアト 性熱 兵豆蔻油也

主治湿瘡ニハ茨ノ花ノ蜜漬ニ五滴程拌セ用 若蜜漬ナクハカセイタニ拌セ用テ可也 一切鼻短ニハ一滴ヲ舌上ニ置自然呑ミ下スモ良シ 或温酒拌セ用テ睡リヲ醒シ脾胃ヲ補益ス 多用レハ頭痛ス

取油法 味豆ノ細末メ水ニ漬ス一十日 其後ラシヒキニテ焼酒ヲ取ル法ノ如ク煎シランビキノ口ニタウ綿ヲ一二寸程押シ入其タウ綿ヨリ油滴リ出ヲウケテ取シ水ト油ト一ツニ落テ油水ノ上ニ浮タルヲヨセテ可取也

同煎シ水モ湿瘡ニヤツヽ用良油ヨリ軽ク和スルセ

二 ヲヽリヨカモメリ 性温 野菊花ノ油

主治骨痛ニ他ノ油ニ合シ用テ良無他油一味ニモ用 取油法 野菊花陰干
莫麻油ニ浸シフラスコカ徳利ニ入レ口ヲ塗リ塞ニ七日程日ニ干シ其後
査ヲ去リ用ル也是ヲカロヒ取ト云

三 ヲヽリヨレリヨウロン 性温 白百合油

主治筋骨疼痛ニ塗テモ効アリ 油少シ加ニノ九可シ 或ハ産前後腹痛ニ
臍ニヌリテ良 總テノ諸腹痛ニ用ユ小児ノ臍ニ塗ルモ良 癌紅点アリテ痛
通リニヌリテ良 取油法モ効アリニ同シ

四 ヲヽリヨロサアロシ 性冷 茨ノ花ノ油

主治打撲ニ先此油ヲヌリ其上ニ イニハラストテヘンシスイフンシヲ木綿ニノ
ヘ貼ス又ヤブレ或骨出タルモ可用 取油法 茨花四十日ホルトカル

百九日入レノ油ニ浸シ油ヲ取ヿ同前

五 ヲヽリヨメンテ 性微温 薄荷油

主治胸塞リ木食スルニ一匙酒之中ニ入拌用 葡萄酒ヲ用テ尤良 取
油法 薄荷青葉ヲ陰干メナテシナヒタルホルトカルノ油ナ加
ヘシホリ取ル

六 ヲヽリヨイリヤウス 性温燥 白斂油

主治口中鼻嗅ニ四五滴程用テ可シ又咽腫レ喉痺之類ニモ四五滴
程用 鼻中瘡ヲ生ルニハホツリ木綿ニ塗リ付鼻ノ中サシ入良 或鼻久
ケノ類ニハ先丹丸ノ油ヲサシ存ニノ其後此油ヲ右ノ如クサシ置シ
耳内腫瘡生スルニハ若アカントノ油ニ貝 此油一貝合メ温メ耳内ニ入

Kitasato Memorial Medical Library

シ

取油法ホルトガルノ油ニ浸シ取ヘシ但シ新ハ油ニ浸シ日ニ二十一三七日古

キハ二三日テシボルヘシ

七　ラーリヨアブセンテヨム　性温　茵蔯油

主治金瘡或諸瘡等ニ腐リ日久ク虫ヲ生スル時此油ニテ洗ヘテ良シ又腹

中虫痛ムニ二三滴ヲ蜜ニ拌用ニノ尽ク消スルヘシ此イタヤノ国ノ野ニ多ク

生スト昔此野ニテ合戦ノアリシニ其時金瘡ニテ此野ニ伏シタフレ或仆

レ死スル者多シ十四五日ヲ歴テノ後彼所ヲ見ルニ仆レ伏タルモノハ疵サモ

痛ミナク後療治メ疵尽ク癒ヘ又死スル者ハ疵サモ腐ラズトミヘリ是専

ラ茵蔯ノ功シト然レハ金瘡ニ尤好キ油ナルコト

八　ラーリヨイペリコン　性温　乙切草油

主治突疵ニ此油ヲ温メ疵ノ口ニ入ルヽ能痛ヲ止ルヘシ又竹ノヒ抔突立

テ痛ニ先ツイラヌキ此油貼ルコト金瘡ハ上ニカルテ白ウルニト等分ニ合セ

温テ塗ルコト　一切金瘡ニ用能癒メ妙也　取油法レリヨウロシト同

九　ラーリヨアニイシ　性温　小茴香油

主治腹脹鳴痛ニ一二三滴ヲ酒ニ拌用積ニモ用　取油法ハ豆ク油

ニ同シ但シハ豆ヨリ油カロリノ深故ニヲシヒキノ口ニ木綿サセ此是ハ油重

ク沈ム故ニヲシヒキノ口ニ綿ヲサヽスメ水ヲソソロヽ移メ取ルヘシ

移取法并圖後ニ見タリ

十　ラーリヨルーイト　性温　ルイタサ油

主治功能畧仝ノ油ニ同シ但癩風ニ用ルヿカレ此草朝ナヽ生ニテ服スレ
ハ何国ニ往ニテモ悪几ニ中ラス亦頭炎セス又山野ニ臥ノ悪虫ニ咬ミサ
ヌヿナシ縦令咬レテモ痛ナシ已ニ咬ミサレタル後ニ用レハ功ナシトニリ
此草ノ生スル国ニハ毎朝此草ニテヲゝリヨアナセニテノサ充加用カし未甚
可否ヲ詳セス又長寿ニモ生ストニリ

十一 ヲゝリヨソラカロン　性寒　小茄子油

主治諸瘡焮ヲ退ニテノ腫ヲ消ス丹毒ニ良シ　取油法ヲゝリヨイ子ニ同

十二 ヲゝリヨヒイテノ　性寒　三七草油

主治小茄子功能相類ス　取油法薄荷ト同シ

十三 ヲゝリヨモンタウン　性冷　コエンドロノ油

主治手足卒ニ丹ク丹毒ノ如ナルニヌリテ良亦瘡或諸焮腫ニ几テ用ユ又疱
瘡ノ余毒此草ヲ煎シ洗フテ良　取油法 薄荷ニ同シ

十四 ヲゝリヨフンデレコイト　性大焮　附子油

主治一切冷腫瘡疽気腫悪毒湿疹ノ類ニ皆已ヲ用　手足冷ルニ塗テ良
葉ヲ薫蒸ニメ良 草烏頭モ同　取油法巴豆霜ニ同

十五 ヲゝリヨアルカミシイヤ　性冷　蓮油

主治湿疹骨痛ニ塗テ良几テ焮腫ニスル又脚気ニ薫シ洗テ良
取油法カンテト同シ

十六 ヲゝリヨメリロウト　性温　ホウコ草油

主治腹痛或ハ痢不止ニ虚人ニレヲ服メ気ヲ益シ筋ヲ挙リ脚弱三味

Kitasato Memorial Medical Library

温メ痛処ニ塗リ又煎シ洗テ良　取油法花ニ斗水一斗入五升程ニ蒸シ
露ニカケ取

十七　ラヽリヨケンフル　一名ラヽリヨゼンセイフル　性　熱　生姜油

主治寒ニヨリ身冷ルニ二三滴葡萄酒ニ入用常ノ酒ニ入テモ良又冷テ噎ル様ノ心持ニテノ出兼ルニ亀ノ肉ニサシ入其香キヽテ則噎ルし或ハ咳嗽ニモ痰出ルニモナリ用テ良　取油法生姜一斤カルカヤル油六合入一七日置其後ニ於リ取し生姜細ニ刻ムコシ

十八　ラヽリヨカルヒイ　性　温　小茴香ノ類ニ云　未詳

主治略小茴香ト功ヲ同フス此油三滴小茴香ノ油一滴合メモ可也
取油法小茴香ニ同シ

十九　ラヽリヨヘンケル　一名ラヽリヨヘンドロ　性　温　イノンドノ油

主治一切冷ル処ヲ温メ止痛兼テ中風筋気ニ良　取油法小茴香ニ同シ一云イノンドニ非ス、イノンドト蔓シト阿ランダニハコレヲ則イノンドト是ニテノ文ヘシカラトモ云

廿　ラヽリヨリイ子　性　熱　ヤエノ人油

主治筋ヲ伸気腫ヲ消ス　取油法　胡エノ人茶ニメ蒸シシテ出シ取シ

廿一　ラヽリヨロウスマリイナ　性　温　阿蘭陀草ノ油

主治吐セントメ吐セス心悪キニ用テノ則吐スコシ又能脾胃ヲ補フコノ草ナハ阿ランダ中ニテノ長サキニモ有之ト未詳セス　取油法　此草アセトウ油ニヒタヽ浸シ十四五日モ置其後濾テ取ルコシ蓋シ是ヲランシ

Kitasato Memorial Medical Library

ダ人ノスルコトシ日本ニテハ無用シ此薬甚妙ニシ能ト自得メ用フベシ

七二 ラヽリヨスカウルテヨム　性温　同前

主治悪風ニ中リ卒ニ死シ或ハ手足瘡ヲ生シ久ク愈ズ又ハヤクサ抔類ニ何レモ二三滴ヲ舌ノ上ニ置テ妙ナリト　取油法カモメリノ如シト是モヲランダ中ノ油ニテ日本ニテハ何ト云コトヲ詳ニセス

七三 ラヽリヨサルサフレル 一名ラヽリヨサリサフラス　性温　同草根ノ油 未考何レ中抔シ

主治諸瘡ヲ癒シ能風ヲハラフ抔シ無中ハ薬ヲモシ用ユ癰腫疾ニハ蓋用悪風ニ中タルニハ酒ニテ用又切疵ナ身ニハヌリテ良ナ一能血ヲ止ルト云　取油法カンテノニ同シ

七四 ラヽリヨフランタアユ　性寒　車前艸油

主治金瘡ノ出血ヲ止或熱痢下血便血ニ良也　取油法ラヽリヨロシサト同シ

二木之類

七五 ラヽリヨアクリミ子　性熱　琥珀油

主治小便閉ニ痳ノ軽重ニ従テ二三滴ヲ見合葡萄酒或焼酒又ハ常酒ニテモ用其外淋疾ノ類或婦人月水不通ニ用テ良女子顔腫赤クナリテ痛ムニ塗ル　取油法琥珀細末ニメ硝子ノ甑又砂ノ埋ミヤウ火ノ加減詳ニ後ニ記ス可考

七六 ラヽリヨテレメンテイナ　性熱　松脂ノ油

主治突疵ニ少温メ付テ其上ニエンハラストテヘンスイフンヲ貼ス又身体

Kitasato Memorial Medical Library

手足ヌクヽミ タル二此油ニ匁カモカリ四匁丁子油一匁合ヌクミ タル処ニ塗ル
脚気ヶ節気ㇾ同前ㇾ此油ハ服スル丁ナㇾ 取油法先脂ヲ鍋内ニ入炭火
ニテ煮溶ㇾ泡立片鍋内ヘ火ヲ入レハ脂ニ火付モユル間モナリヒタト拌セ燃
ヌ可ㇾ大形燃タル片火ヲ消ヌヿㇾ但燃過レハ油ヌクナㇾ露九木綿ニテ
コㇾ能ㇾボリテ査ヲ去リ油ト成ル口傳アリ能得サレハ取難ㇾ
取脂法 松脂ヲ取ニ冈ㇾ枝木ニ切形ヲ付置ハ自出ルㇾ

九七 シヽリヨカラアフ シヽリヨナヤガラ 性大熱 丁子油

主治節気脚気中風何レモ此油一匁アヘルト一匁カモカリ四匁シヽリヨ
テレメンテイナ二匁合ㇾ塗テ良若寒痛ヌル者ハ狐油カ又ハ狸油カ二油
合ヲ四五匁加ヘ塗ルヿㇾ 取油法 肉豆リニ冈ㇾ

九八 ヲヽリヨセイラ 性冷 蠟油

主治爪抜タル片録青五分細末ㇾ蠟七分此油五匙程入合メ爪ノ抜タルアトニ
付ニノ上ヲ木綿ニテノ包タㇾ後固メ強リノ成ルㇾ 取油法蠟ヲ煮溶ㇾ布ニテ水
舟ニㇾボリ入レハ蠟ハ沉テ油ハ浮ノモㇾ ヨセテ取ヿㇾ

九九 ヲヽリヨアランㇾヤウロン 性微温 密柑皮油

主治爪ヒキタル片二滴程カルヒノ油ト未分ニ合ㇾ用ユ若カルヒノ油無時
ハ一味斗モ良ㇾ又呑酸ニモ同前 取法蜜柑皮ヲテㇾ水ニ浸ㇾ摩ㇾ其後ヲ
ニヒキニカレノ薬出ㇾ口ニ木綿ヲカヽリ入木綿ヨリ滴リ出ルヲ取ㇾ但油ハ
水ノ上ニ浮テ有ヲヨセ取ㇾ

百 ヲヽリヨヘツトロアマㇾト 性温 苦アメンドスノ油

主治耳鳴リ聾スル者耳内ニサスベシ耳瘡生スルニ膿ヲ出メ無エ何モ温カニテ
フクメ綿ニ付サスベシ　取油法　上ノ油ノ如クシメ出シ取ルベシ

六十一　シヽリヨスラウクアニシト　性温　常ノタマシクス油

主治小児乳汁吞兼タルニ乳頭ニサシ塗リテ吞ベシ又爪ヲヒキタルニモ乳頭
ニヌリ用又乳母不食メ乳汁出難キニ半匙程用テ乳汁出べし

取油法同前

六十二　シヽリヨラウリイ子　性温燥　黒ツヽ木ノ実油

主治打撲皮損シタルニ鉄油三分ヲ加ヘ付テ能ク無ルべし又無ヘ兵上リ過
タルニモ付ル虫歯ニテマシ毒ニ中リ痛ニ此油一味付テ良或食胸ニツカエ消
セスメ吐逆スルニ此一味胸ノ水落ニヌリテ良又節痛歯痛モ付テ痛ヲ止

ケルセ　取油法四五月ノ比葉ヲ取リ鉢ニ入テルヤカルヤカレノ手ニテ搗ミナ
ヤミ木綿ニテノミオリ取ルベシ　昔阿ラビヤ人此木ノ葉ヲ以合戦ニ利ヲ得テ帰
ル夫ヨリ軍ノ庭ニ作リ頭ニ戴キ朝夕料理ニモ此葉ヲ不絶用エ能食
ヲ進メ脾胃ヲ補フト云リ

〇此文通セサルニ似タリ　然ド此本ヨリ書傳ルコトヲ故ニ其侭書スルし

六十三　シヽリヨシナモウミ　性大熱　肉桂油

主治心気不足スル者此油ヲ二三滴用テ能心気ヲ補ヒ血ヲ養或喜
怒甚又大ニ驚キ至極メ血ヲ散ルニ用テ良又孕婦四五ヶ月ノ間喜怒大
過メ胎落ル有此油酒ニテ三四滴ヲ服メ良又ブドウ酒ニテモ用能気
ヲ強シ子ヲ保ツノ妙し　取油法　肉豆クニ同シ

Kitasato Memorial Medical Library

廿四 ヲハリヨセチイフル　性 微温　一云寒ツナレ 松ノ実油
主治小便不通并ニ石淋ニ此油四五滴酒ニテ用又白湯ニテ用モ良産后胞衣
不下ニモ又産後アト腹痛ニモ四五滴酒ニテ用フシムハ筋気脚気手足ノ甲
冷テ腫或腰痛大便結スルニ并ニイノシトノ水七八滴入拌用
取油法　蜜柑皮ニ同シ

廿五 ヲーリヨ・フレイル 一名ヲハリヨサンブイーン　性 冷　ニ庭麻油
主治胃中滞有テ顔色悪ク口苦キニ此油一匙ヲヲーリヨテレメンテイナヲ
少加ヘ用テ良テレメンテイナ無キ時ハヲーリヨアフセンテニテ少加フルモ良嘔逆
後ヲハリヨウリイチタシ加ヘ用　取油法　ロウリイチニ同

廿六 ヲーリヨケレイムスタルタアリ　性 冷　葡萄酒油
主治ニキヒ丸テノ面瘡ノ類ニスリ能顔色ヲ美フス 取油法フトウ酒一石モニ
石モ器ニ入置ハ器ノ底ニカタマリ石ノ如ク成ル 此ヲホウノノニ入口ヲ能シロノ
明キ目ニ木綿ヲ水ニヌラシ蓋ニメ押付ケ息ノ出サル様ニメ炭火ニテ煮彼石
ノ如ナル物解タル中羅紗ノ袋ニ入口ヲクヽリ其袋ニ物ノアタラヌ様ニメ身
ノ箱ノ内釣下ケ其下ニ鉢ヲ置袋ヨリ露ノタルヲ取レ尤箱ノ内ニ風ノ入ヲ
サルヤウニ早ク蓋ヲシスヘシ凡アタレハ油ナキ也

廿七 ヲーリヨメルテロウルン　性 熱　榧子油
主治無名ノ痛ヲ止ルヘシ　取油法上ノ油ト同シ

廿八 テレメンテイナニ全シ　此油ハ瓶ノ内ヘ入ラサル様ニ上手リニ付ル
取油法テレメンテイナノ油ニ同シ

卅九ヲヽリヨヘ子イクリ　性 熱　大茴香油

主治腹脹リ鳴ニ少用積聚ニモ可ン又冷ヒキタル中カワキ雖水痕ノサカ又ハ白湯ニテモ用又疼出ニモ小便不通ニモ白湯ヲ用取油法ヘ子イクリ末メナ一斤ホルヒカル油四斤入カキコシキニ入蒸シ取リ壺ニ入置ハ油ハ下ニ沈ム事タル水ハ捨テ不用

四十ヲヽリヨイノヘリセイ子リヒ　性 温　黄精ノ葉油

主治一切頑瘡漏ヲ成スニ用　取油法カンテニ同シ

四十一ヲヽリヨカンフル　性 熱　樟脳油

主治疥癬ニ塗テ良　取油法細末カユノ油ニ浸シ取ルセ

四十二ヲヽリヨキヨヘメス　性 微温　木瓜油

主治一切ノ痛ヲ止又歯痛ニ用　取油法　木瓜生ナルモノ刻ミコノ油ニ浸シ取ルし

四十三ヲヽリヨルテンウヒンイテし　性 熱　佛手柑皮油

主治冷ヲヒキタル時冷ニヌリテ良し　取油法皮ヲ刻ミ油ニ浸シ取ルし

四十四ヲヽリヨハルサム　是油ハ三種ヲ合ス是丸木類多キ故是ニ附スルし

性熱　主治筋気ニノ痛ミ或歯痛耳痛ニモサシ入テ良し又一切ノ疵ニ塗テ良トモ云　取油法　熊胆五匁　琥珀七匁　檜脂十匁　合メアセククウ油ニノ子リ合置し是ヲハルサンク云

四十五ヲヽリヨホツホウリヨム　性 冷　異国ヨリ来ル木ト云説有又イニクヱンシウノ古木ト云説有　未詳　取油法ヲウリノ子ニ用嵩クアレハ此油ノ

代ニテウリイ子ヲ可使し　主治骨痛ニ立ミワラスラトテベンスイフンヲ付
其上ニ此油ヲヌリ付ル丁又節痛ニ手足之痛ニモ温メ塗ルヘし

三　金石土之類

四十六ヲーリヨヲーラ　性辛　金ノ油

主治悪風ニ当リ卒ニ死シ或身体ニ悪瘡ヲ生ル丁有此油ヲ芥子粒ホト
舌ノ上ニオキ呑下シ後ニ鮮ナ糞ヲ一分程細末メ常ノ酒カ葡萄酒カ又ハ
焼酒カニテ用ユヘシ又癩瘡ニモ目薬し　昔フランサト云国主トエケレスノ国
主トノ戦ニ癩風ヲ病ム人来テ薬ヲ詣フ即此油アメヘラルヽニ面手
足ニヌリ終ニ体ヲ全フスルトし　取油法　焔硝硫黄塩三味ヲ加テ金
ヲ焼キ金ヲ粉ニメ更ニ入テ焼しサテ粉ニメヒイトロノ壷ニ入砂ニ埋ミ
置フラスコ破レサル様ニ砂ノ下ニ火ヲ入フロノ焼し煙手リフラスコニ当ル其
津液ヲ油ト云し故ニ阿ランダニモ国主カ富貴ノ人ニ非レハ取ラサルし

四十七ヲーリヨアールト　性温　土油

主治節ヲ和ケテ塗ル処ヲ温メ略丁子油ト功同し此油ハラテント云国ノ
山川ノ水上ニ浮浣イイツルし

四十八ヲーリヨホロム一ノ　性寒　鉛油

主治瘧疾大ニ熱シ咽乾水ヲ飲ニ此油四五滴湯ニテモ水ニテモ用
取油法鉛ニ焔硝硫黄塩三味ヲ焼粉ニメコレキ入油ヲ取ルし琥珀ニ貝シ

四十九ヲーリヨスワアフル　性大熱　硫黄油

主治能イボヲ無ス先イボヲ切テ其口ニ木綿ヲカシキセ其上ニコノ油ヲカ

Kitasato Memorial Medical Library

シ塗レハイボノ根抜テ愈ルし此油モイボ切口手ニ付テワキニサノシモチラサ
ルヤウニスベシイボノ根抜タルアトニヲヽリヨイヘリコシ付テ能愈ルし　咽痛ニ
蜂蜜四十目水一升千タル柘榴皮廿目煎ジ査ヲ去リ此一滴口ニ含ミ咽痛
ム処ニ入又咽ニノコロ〳〵クナラヽ吐出スベシ又呑ヘカラス
取油法兵豆ノニ同ジ若油ナクンハ油ヲ取アトノ水ヲ用モ良

五十一　ヲヽリヨヘイタラ　性大熱　右ノ油ヲ云ト未詳
主治ヲヽリヨミツセイニ同但此油ハサミ使フヘシ取油法ブドウ酒ニ同シ

五十二　ヲヽリヨスルフル　性寒　一云平。銀ノ油
主治小児ノ白禿瘡ニヌル　取油法　金油ニ同シ

四　禽ノ類

五十三　アキツキヤカラアン　性温　一云平　鶴油
主治能堅キヲ和ケ痛ヲ止ム　取油法去腸蒸取ルし

五十四　アキツキヤヘルトイシテノ　性温　或ハ寒　鴨油
主治能痛ヲ止メ但屎ハ熱毒丹毒瘡腫并蜈蚣ノ毒ニ中ルニ雞子白ニ
調ヘ付ル　取油法右ニ同

五十三　ヲヽリヨカンス　性熱　或ハ平ノ油

五十五　ホンクロツニノ　性熱　或ハ温　雞油
主治久シキ瘡ニ付テ良又雞冠ノ血縊死スル以下温ナル者ニハ血ヲ刺テ
口中ニ滴テ入ルヿ男ハ雌女ハ雄即治ス又百虫入耳ニコレヲ滴テ即出
ス小児卒ニ驚ニ痛ミアルニ似テ疾ヲ知サルニ臥テ臨テコレヲ口ノ上ニ滴ツ

Kitasato Memorial Medical Library

毒ヲ気腫ヲ療ス又白癜風諸瘡侵淫瘡又馬咬瘡毒腫痛并蝦蚣咬ニ
塗之良凡テノ無名腫毒ニ腫ヲ消シ止痛　取油法油ノ処ヲトリ用

五十六　ヲヽリヨハアロニ　性温　一云手　雞卵油

主治病気或ハ白ノ炎陰嚢ニイリワリ痛ニ塗テ即痛和ケノ愈ス一方ニテ
セルテイヤセンフラ此油ニ味合メ貼ス亦頭瘡愈テ後ハゲテ毛髪生セサルニ
塗テ良或気腫瘡等ニ未潰カタマリタルニ此油ヲ付上ニムスラキニブスカ又
ハメリロウトヲ付ツシ白味ハ微泉湯火傷ヲ療ス頭瘡ニ傳ス〇殻内ノ白
皮灰ニ焼キ小児頭身ノ諸瘡ニ猪脂ニ調ヘ傳ス　取油法卵殻ト共ニ水ニテ
能煮ルト白ニトラ去リ黄ナル者ヲトリツトリ鍋ニ入研リ熬リ焦シ黒
色ナル才布ニテノ漉テノ取ルツシ冷時ハアメヘメテノ凝リ固メ出スヘし

五十七　アキツキヤイーンテ　性冷　家鴨油

主治能痛ヲ止ム鴨油ニ同シ　取油法鴨油ト全シ

五十八　アキツキヤスワアン　性温　白鳥油

主治取油法共ニ家鴨ニ同し

五十九　アキツキヤトヒヽ　性熱　一云手　鳩油

主治兵ハ悪瘡疥癬風ヽ癩瘰癧并ニ炒リ酒ニテノ服ス
餘〇屎ハ頭極テノ痒メ不痛メ生瘡ニ醋ニテノ調テ膏ト成メ煮ヽ丁ニ三沸
メコレヲ傳ス又白禿瘡ニハ先米泔ニテノ洗浄シ鳥未付し又馬患瘡ニ屎
ヲ炒リ黄ニメ為末草ノニ和調ヘ又外ニ付ツし　取油法　白鳥ニ同し

五
歎之表

Kitasato Memorial Medical Library

第十 アキツチヤクルヒハルコ　性 熱　一云又予野猪兵油ヲ云

主治一切瘡瘍去膿止痛　取油法兵ヲ蒸シ取ル

第十一 アキツキヤハルト　性 温　鹿油

主治冷テ痛ム処ニ塗ル又面上ニキビノ生スルニヌリテ愈　取油法兵熱取
セ

第十二 ヲハリヨハルコメイル　性 温　一云微寒 家猪油

主治瘡腫ヲ消シ痛ヲ和ケ又蜈蚣子耳ニ入ルニ炙リ香フメ耳以ニ
安ス自出ス　取油法同前

第十三 ヲハリヨカイテ　性 温　牛兵ノ油ヲ云

主治并取油法同右　一名ヲハリヨカルフト云

第十四 アキツキカヘイルカアル　性 熱　一云微寒 熊油ヲ云

主治手足痿タルニ用テ良又マ木ノ油ト狸ノ油トニ合シ付ルモ良 胆ハ苦寒
悪瘡并痔漏ニ塗 取油同前

第十五 ヲハリヨホイス　性 熱　一云温 狐兵油

主治冷痛ヲ止　取油法右同断

第十七 ヲハリヨメフス　性 熱　一云温 狸兵油

主治老人筋痛ミ或ハ冷テ痛ミ杯ニ共ニ塗テ良又寸白ニハヲハリヨヲハアロ
ニヲヤ加テノ用ユ　取油法ハルコメイト同シ

第十八 ヲハリヨアツフ　性 熱　猿油

主治取油法　狸兵ト同断

Kitasato Memorial Medical Library

六 虫之部

六十九 ヲヽリヨテイイレユンヘニ　性大熱　蜈蚣油
主治諸虫ノ毒ヲケシ又虫牙火傷ニ良打撲筋骨痛ニモ用 取油法 蜈蚣ヲホルトカル油ニ浸シ腐シ使フ是アロヒ取ノ類也

七十 ヲヽリヨロレフリコウロン　性熱　蚯蚓油ヲ云
主治冷テ手足痛ニ用或ハ麻木ニハテレメンテイナヲ加フ 取油法 蚯蚓ヲ多取リブドウ酒ニ入土ヲ吐セテ酒ヲ去其後ホルトカルノ油ニ浸シ壷ニ入ロヲ能塗リ塞置ヿ数十日ニメ蚯蚓ヲ去リ用若ブドウ酒无ケハ常ノ酒ニテモ用ヒ樽ニ込サシ入レハ土ヲ吐クヘシ 少温メテ用ユヘシ

七十一 アキフキヤケツキホルス　性冷　蝦蟆油ヲ云
主治癰疽其外一切之熱腫ニ用又毒虫螫咬タルニヲヘリヨテレノレユンヿニ合シ付ヘシ 取油法 細ニ切油ニ浸シ取ナリ

七十二 アキフキヤスランカ　性温　蛇油
主治毒虫咬タルニ付テ良 取油法但草色ノ蛇ヲ用右同断

七十三 ヲヘリヨクレイヿイヘシ　性大熱　真蛇
主治一切虫魚毒ヲ解ス又咬螫タルニモ付テ可也或ハ打撲傷損并金瘡日ヲ歴テ虫ヲ生ルニ付ル 取油法 真蛇ヲ油ニ入煮テ粥ノ如クナルヲ漉テ査ヲ去用ル

七 ワアトロ 水ノ部

七十四 ワアトロロサアロン　性寒　白茨花水

主治能热ヲ凉ノミ上気頭痛或頭面小瘡ヲ生ミ或ハ撲并験アリ
取水法白茯花ヲ水ニ浸シテシヒキニカケ蒸シ取ルヘシ

七十五 ワアトロアキリヒウニヤ　性冷　鹿蹄草ノ水
主治諸瘡ニ温メ洗テノ後膏ヲ貼ルヘシ諸悪瘡热瘡痛ヲナスヲ治ス能
血ヲ止咽痛退ケ目ヲ明ニシ下焦ノ热ヲ凉フス取水法右ニ同シ

七十六 ワアトロロウスナ　性温　蓮葉ノ水
主治吐血赤痢女人ノ漏下ヲ治ス取水法ロザアロニ同シ

七十七 ワアトロアニイミ　性温　小茴香ノ水
主治霍乱脚気腎虚疝気ニテ小腹牽リ痛ニ服ス又外ニ付テ良能
胃ヲ開キ食ヲ進ム凡寒ニ中リ腹鳴ニ良

七十八 ワアトロアランセウロン　性温　陳皮ノ水
主治上気咳嗽痰ニ用能ク酒魚菌毒ヲ解ス

七十九 ワアトロマチルレルハ　性寒　金銀花ノ水
主治能血ヲ汗シ筋ヲ人諸ノ小瘡热瘡并洗テ良

八十 ワアトロタンチヤセン　性寒　車前子水
主治久瘡ヲ洗ニ热腫ヲ消ス

八十一 ワアトロラワトウカ　性寒　川芎ノ水
主治热ヲ凉シ热腫ヲ消ス

八十二 ワアトロヒヨウラス　性冷　馬鞭草水
主治畧同前シ取水法右几テロウスナニ同シ

Kitasato Memorial Medical Library

七 油佗合主治之類

八十三 消熱腫方 ヲヘリヨロウサ ヲヘリヨソラアウン ヲヘリヨヒヨウラス
ヲヘリヨアモメリ 右四味等分ニ合シ先塗上ニテベンスイフンヲ貼ルし

八十四 温和寒痛方 ヲヘリヨロウリイチ ヲヘリヨアレウフレイ
ヲヘリヨアチイシ ヲヘリヨイアリヨシ ヲヘリヨロウサ
右五味等分ニ合メスリ付其上ニメリロウムスラキテラス杯貼之

八十五 伸筋方 ヲヘリヨホウス ヲヘリヨリイチ ヲヘリヨアチイシ
ヲヘリヨアモメリ ヲヘリヨアレウフレイ ヲヘリヨイアリコシ ヲヘリヨメンテノ
右七味合メ温メ付テノ上ニテヤルテノーヤヲ付フシ
又方轉筋 ヲヘリヨテレメンテイナ中 ヲヘリヨソクスチ中 焼酒大 右温
メ付ルし

八十六 打撲和痛方 ヲヘリヨラウリイチ ヲヘリヨサンテイチ ヲヘリヨロニフリコウ
ロシ ヲヘリヨロウサ 右四味合メ先塗リ上ニテノベンスイフンヲ貼スルし

八十七 治手足之筋牽行歩艱難 ヲヘリヨテレメンテ大 ヲヘリヨフリヨウフレイ小
ヲヘリヨアモメリ中 右三味合シ温メ塗ル

八十八 金瘡 ヲヘリヨイアリヨシ ヲヘリヨロウサ ヲヘリヨテレメンテイナ
椰子油 右四味等分ニ合シ四十次ニカンフルヲ少 松脂少 蠟少
此三味ヲ油ニ入煉合セ貼ス
又方金瘡生宍 ヲヘリヨカルテロウルシ ヲヘリヨイアリコシ
右二味合セ付ク又テレメンテイナ少加ルモ尤良

Kitasato Memorial Medical Library

八十九 石淋方 ヲヽリヨウリスヌチ ヲヽリヨヘヲヽテン ヲヽリヨアノテし

ワアヽロヽロ吊サアロン 右四味合温カニテノ外ニ付ヶ又内ニモ是ヲ服スルヿ一日ニ二三度

九 阿蘭陀方言茀名和解

ヲヽリヨウハ何ニテモ茀ヲ油ニ浸油ヲ云 ヘヲヽテヽハ何ニテモ肉ノ油ヲ云

アキワチハ何ニテモ生物ノ血ヲ物ニノ取 油ヲ云 コヲスヽハ物ノ脂ヲ云

ワアトロヽロヽハ何ニテモランビキニ掛取水ヲ云 ホロウリスヽハ花ノ蕋ヲ云

セイモンヽハ草木ノ実ヲ云 ヲアノテキスヽハ円根ヲ云

茀油終

阿蘭陀人被為仰付候御茀油 茀味左ニ記ス

目録

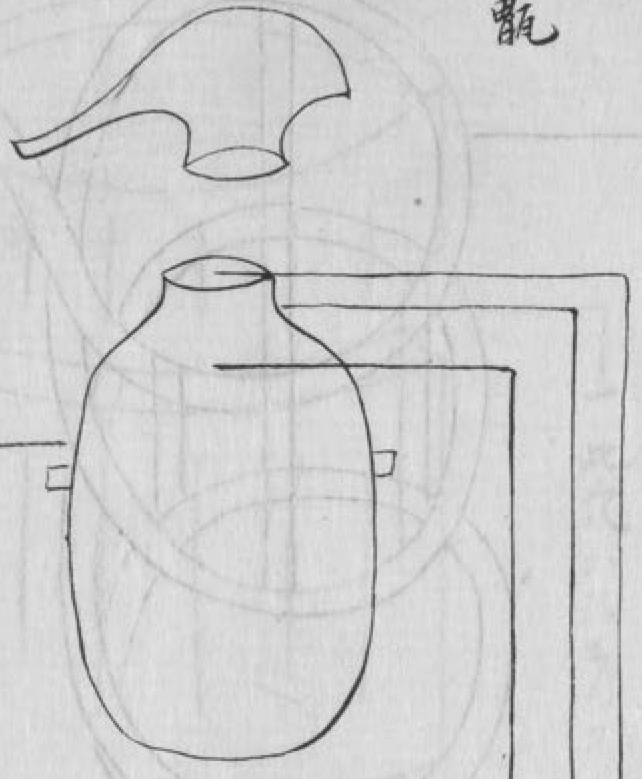
テレメンテイナ 六斤 水八升 是ハ真似ニ蒸し 蜜柑皮十斤 水一升 日数二十日壷漬置 ラウスマレイナ 九斤 水三升 日数十二三日 イノシヽノ種三斤 水一升日数十日 ソチレ松ノ実 廿斤 水三升五合 日数十日

ニクワノ 七斤 水二升日数八日 小茴香 九斤 水二升 日数十日

丁子油 五斤 水一升日数十八日 加茀アメンヶス 卄日 并水

茀油之終

銅甑

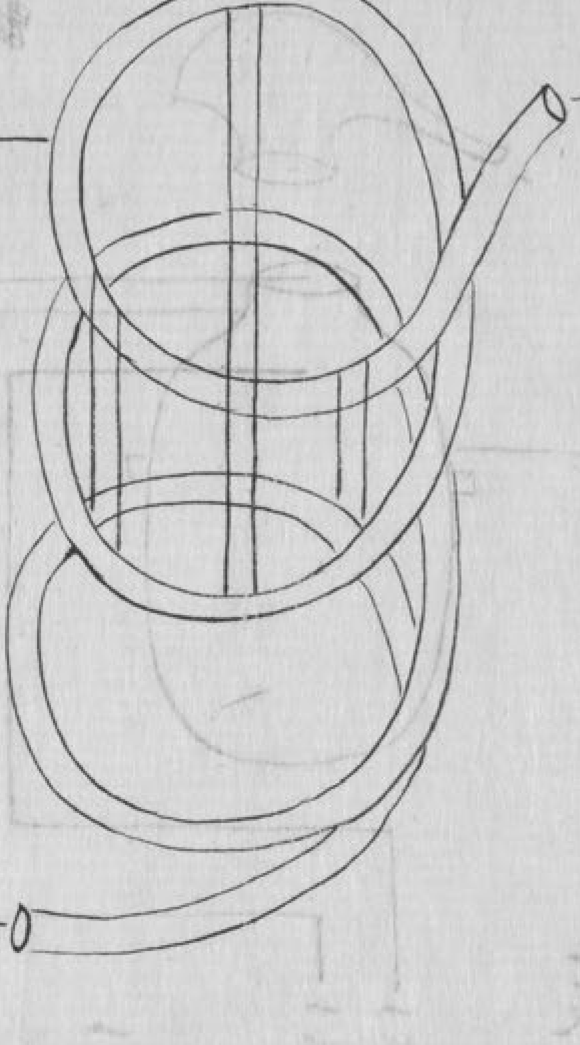


一口ノサシ渡五寸五分
一箄持ノ高サ一寸
一深サ一尺六寸
一外ノ廻リサシ渡シ一尺五寸
一取手長サ一寸　如此三処ニ付ル
一箄口ノサシ渡五寸二分
一樋ノ長サ一尺一分
一湯廻リフチノサシ渡シ八寸五分
一深サ九寸八分

Kitasato Memorial Medical Library

此桶銅又ハ錫ニテモ

フランガ



一此口五寸程桶ノ外ニ出ルし

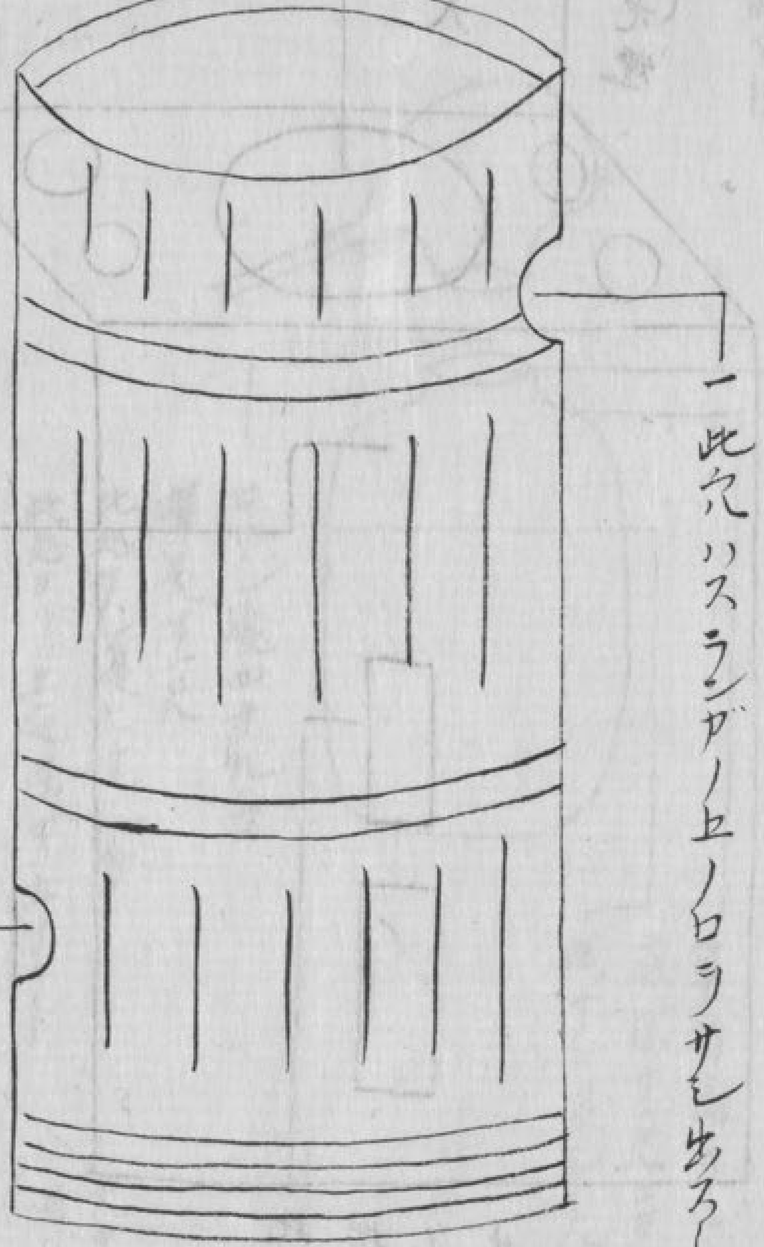
一此口之内ニ甑ノ箏ノ桶サシ入し

一如此曲リ輪ノ内九サシ渡一尺

一此口ハ桶ノ外ニサシ渡スし

但三寸程

一桶高サ四尺



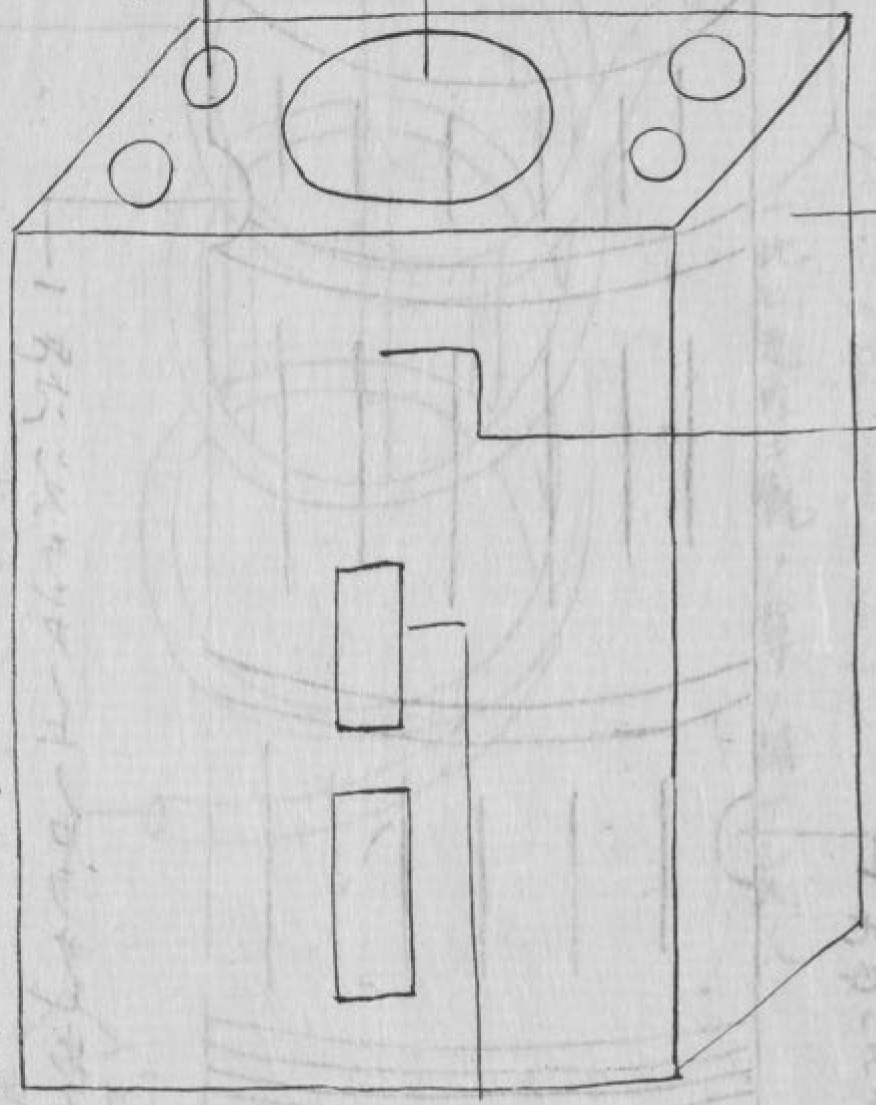
一此穴ハフランガノ上ノ口ヲサシ出スし

一此処ハフランガノ下ノ口出スし

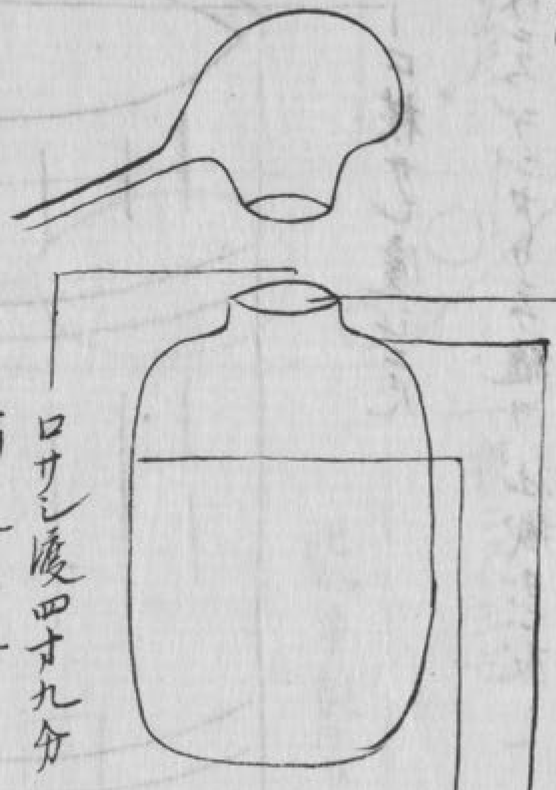
一口サシ渡廣サ三尺一寸五分

Kitasato Memorial Medical Library

土爪爐



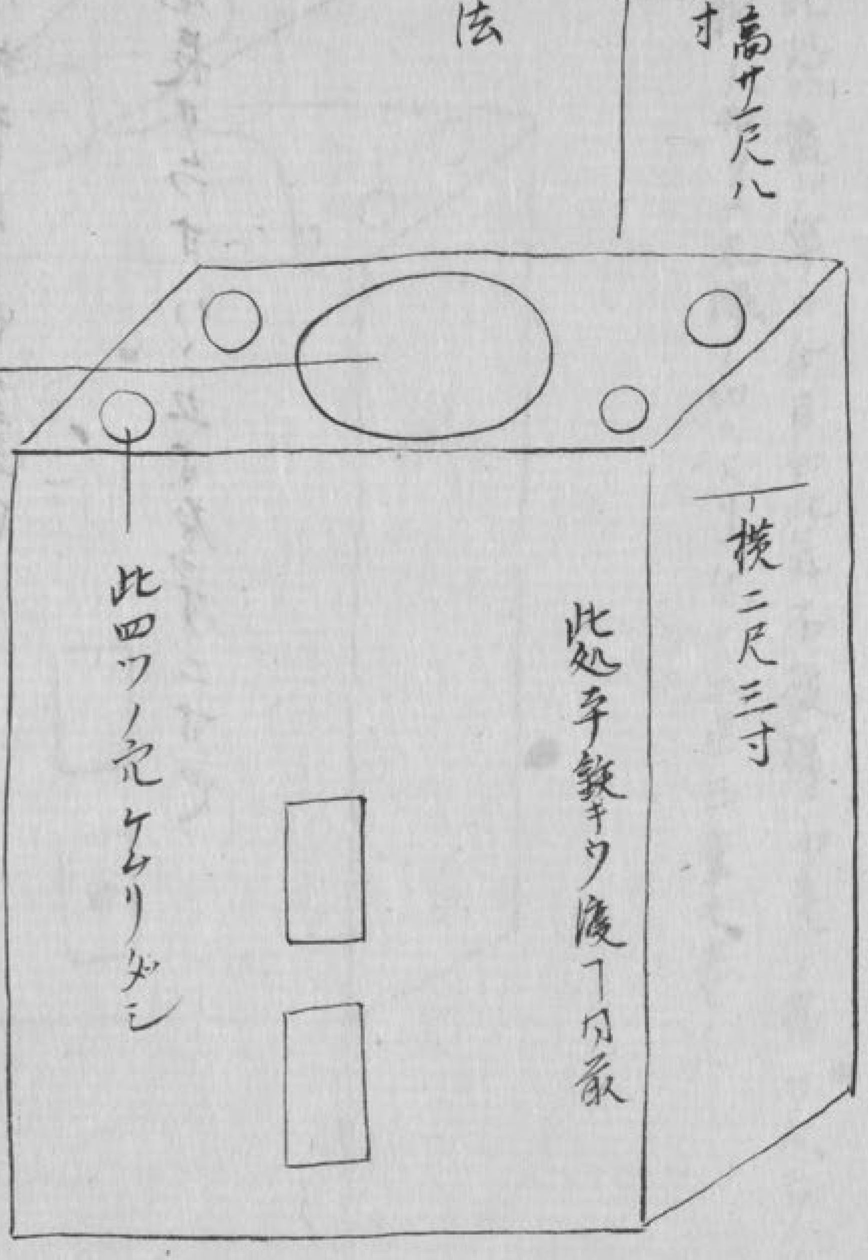
銅甑寸法



Kitasato Memorial Medical Library

樋寸法

土爪寸法

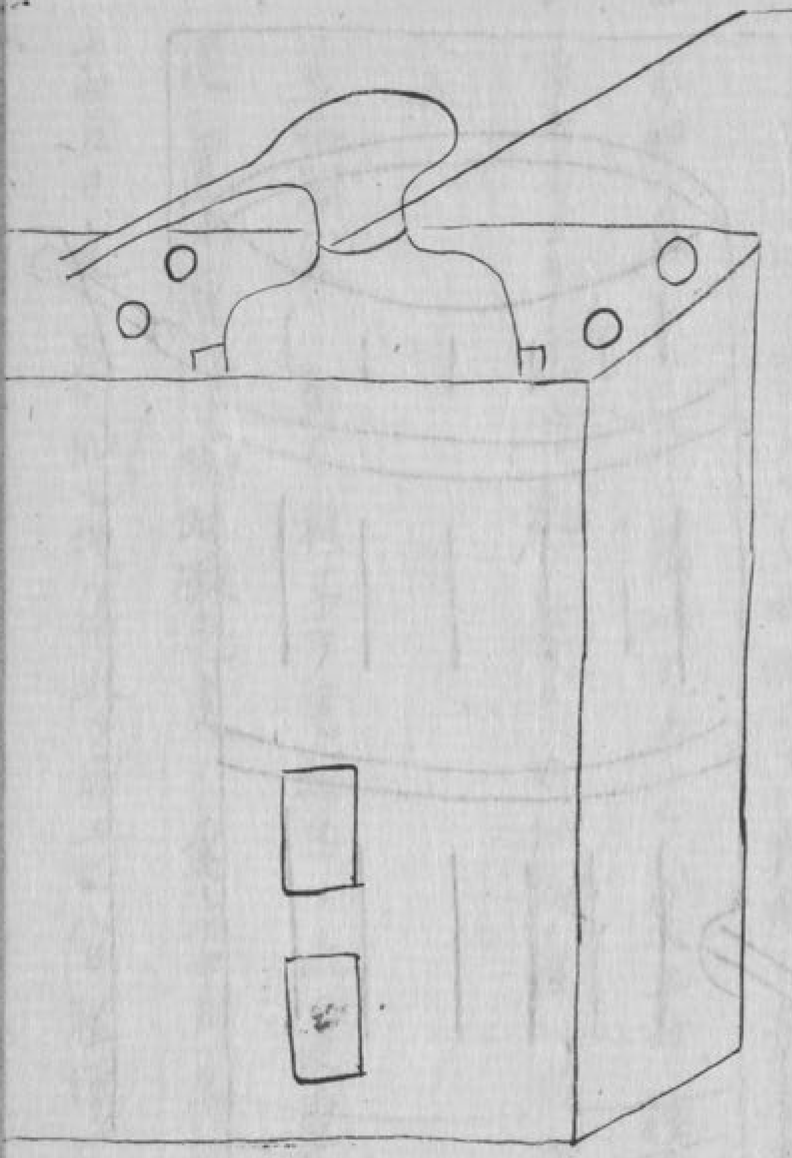


Kitasato Memorial Medical Library

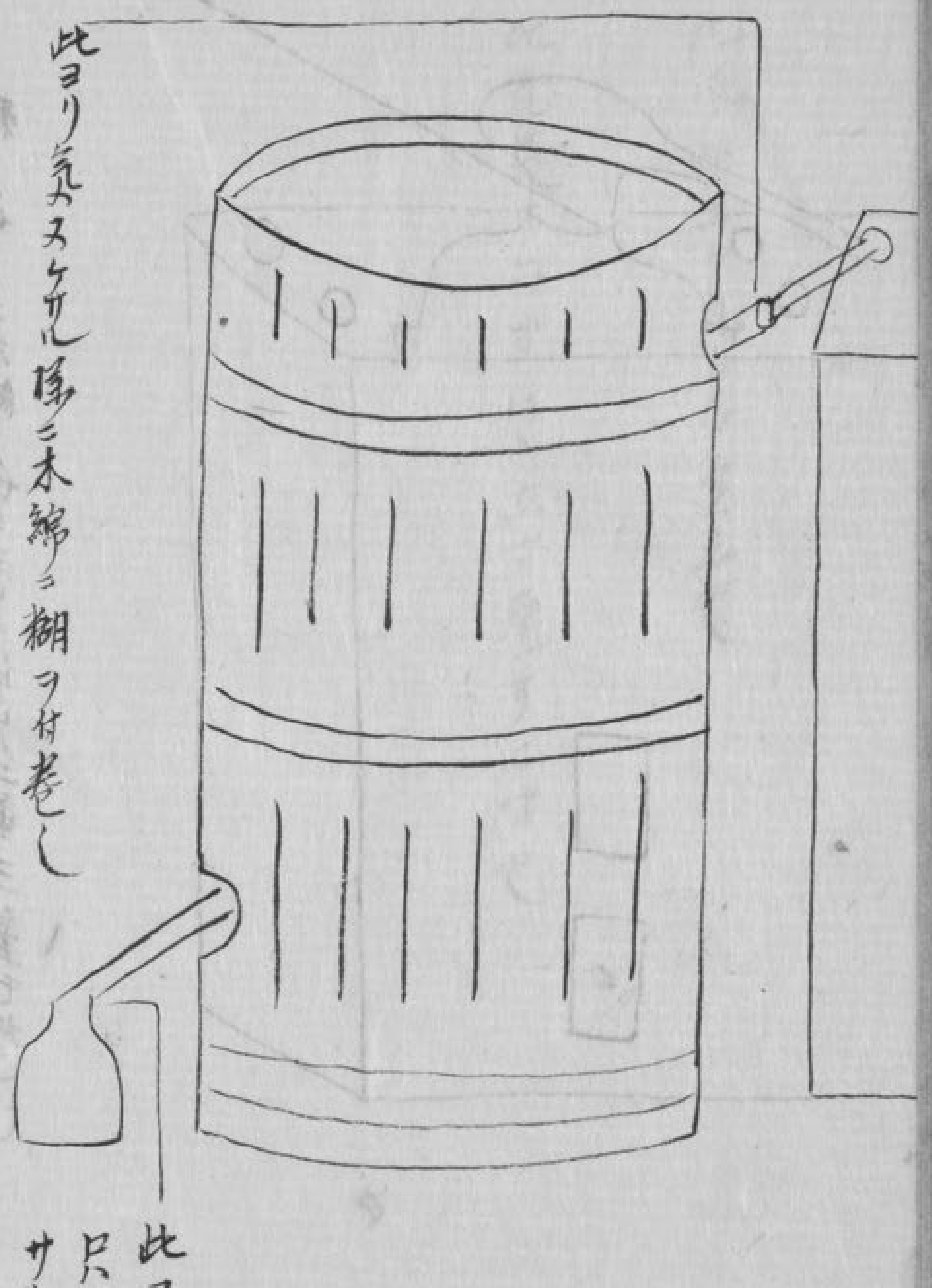
一此爪炉土ト尾ト合塗込也

一此尾長サ六寸ハ、五寸厚サ二寸也

此処ハ鎚ト筆ト合目如此気不抜様ニ小麦ノ粉ニ水ニテ子リ糊ノ如クメ木綿ノ切ニヌリ付ヶノ二重三重モ巻し



Kitasato Memorial Medical Library



一此桶ノ内ニフラスコヲ仕掛ル了甑ノ内ノ油此桶中ノフラスコノ内ヘ流レ移リ
テフラスコニ入ヤ為し

一冷水ヲ入ルヿハ甑ノ熱気ニテフラスコノ温リ過ル故ニ熱気ヲ醒サン為ニフラスコガ
ノカクル丶程ニ水ヲ入ルし水温ニナラハ幾度モ上下ヘカキ交セ入ルし

一凡炉ノ内ニ火ヲ入ル了薬味大分ナラハ炭五升程又少リハ炭三升ニテノ火ヲ吹
付ケヲコリ立ツ中甑ノ算手引加減ニ温ル火加減ニテノ火消サル様ニ度々加
ヘ入ルし

一薬味調ヘ入ル了新ヤ種子ヲ用細末シ水ニ浸壺入口ヲ包置べし

一浸シ置日数并水加減之事　寒ノ中ハ薬気解ル故湯ヲ用べし日数
十四五日夏ハ早ク和ル故ニ冷水ヲ用ユ七八日程漬置壺ノ内ノ加減薬程何程

有之美味ノ上ニ水ヲ七寸程添上ル加減シ

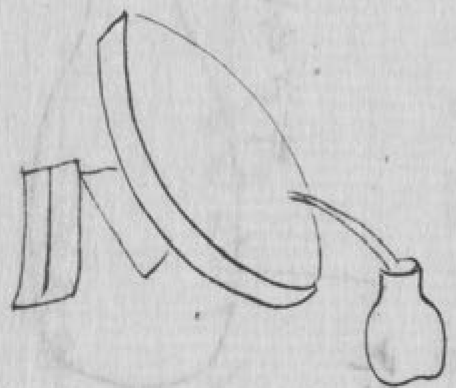
一 薬中ノ水加減ハ右漬ル中ノ水ニ増倍程入レ甑ノ内ノ水分量ハ難記セし

油水取分図

一 此丸ビイドロニ薬出ル油ヲ入レ如此サフラスコニヲ結添ヘ置フタメ木綿ヲ焼心ノ様ニ仕械テ大サノフラスコノ口ニ引渡シ両端ヲサシ入置ハ燈心ヘ傳ヒサフラスコノ内ヘ油移ルし故ニ丸徳利ノ内ノ油ヘルし縦令油サシ有之ルロニヲ満タサレハ燈心ニ吸上サルし口満ル程幾度モ入レ加ヘルし 如此ハ水ノ上ニ浮ク油ト水

取分ル仕械セ

油水取分図



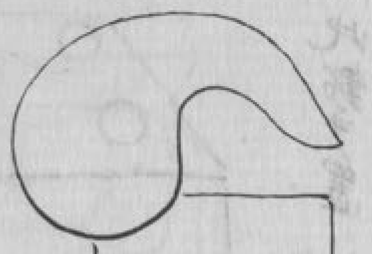
一 鉢丁子之油ノ水取分木綿燈心右ニ同シ丁子ハ外重キ油ハ水ノ底ニ沈ム故ニ滝中鉢ニ入サフラスコヲ入ケ置油段々ニ入添ルし鉢ノ白ニ満テモ沈ム故ニ吸上サルし如此鉢ノ下ニてソラヲカイサフラスコノ方ニ鉢ヲ次第ニ傾ケ置ハ油皆サフラスコニ移ルし

Kitasato Memorial Medical Library

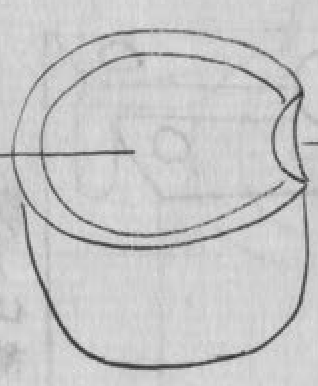
ヒイトロ甑具寸法

コルフ

レトルト

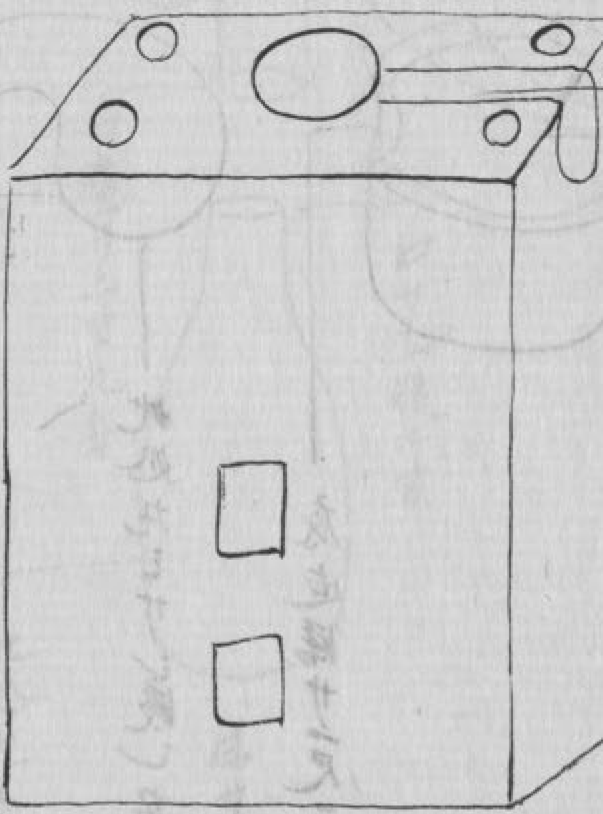


鉄鍋



Kitasato Memorial Medical Library

土凡ノ口

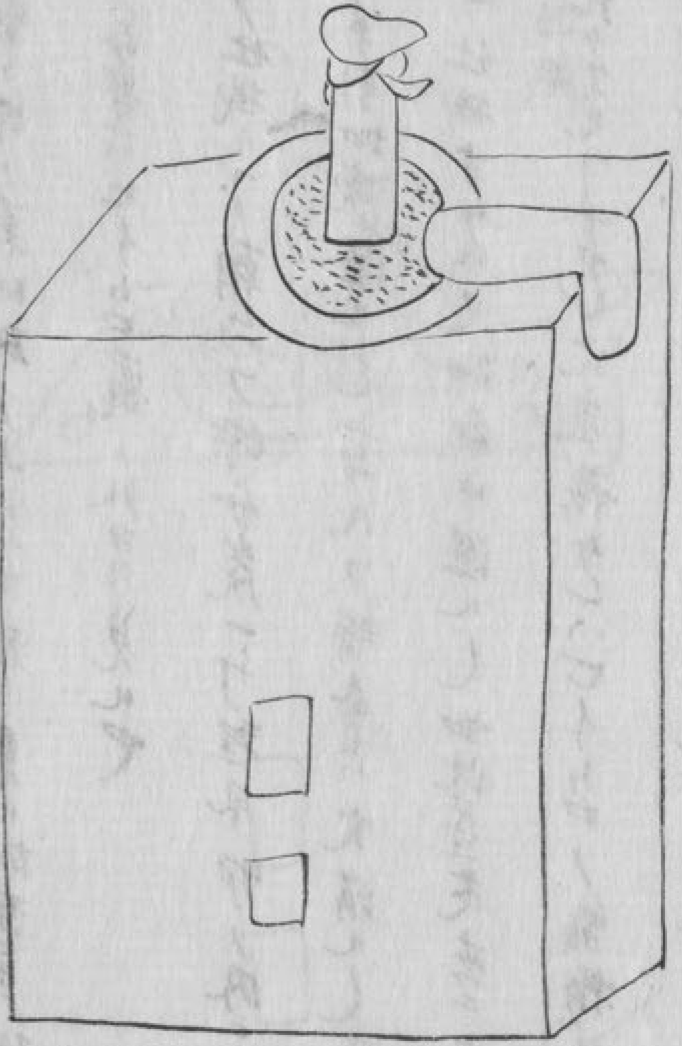


此処深サ同鉄鍋フチ切カキ二月 但シレヒルト云
甑ヲ仕掛ル中フラスコヲフラスケオリタメし

如此鍋ヲ置し 砂七分目程入テ油薬ル中三日前ヨリ
火ヲ仕掛置砂ヲ温メし

樟脳薬方
生脳一斤 アーメンケス三十目
水二合五勺 フランカウイン二合
已上四味

初日仕掛



一 蒸ル次第右薬味調合メコルフニ入如此ロヲ包テ鍋ノ内置シ罏砂ノ中ニ入ル、
深サノ丁罏ノ内ノ薬味砂ノ上バ一寸程ニ見ル加減ニテ砂ハ鍋ニ七分目ニ定ル
也 薬味ノ分量ハヒイドロ罏ノ外ヨリ見ルヤ

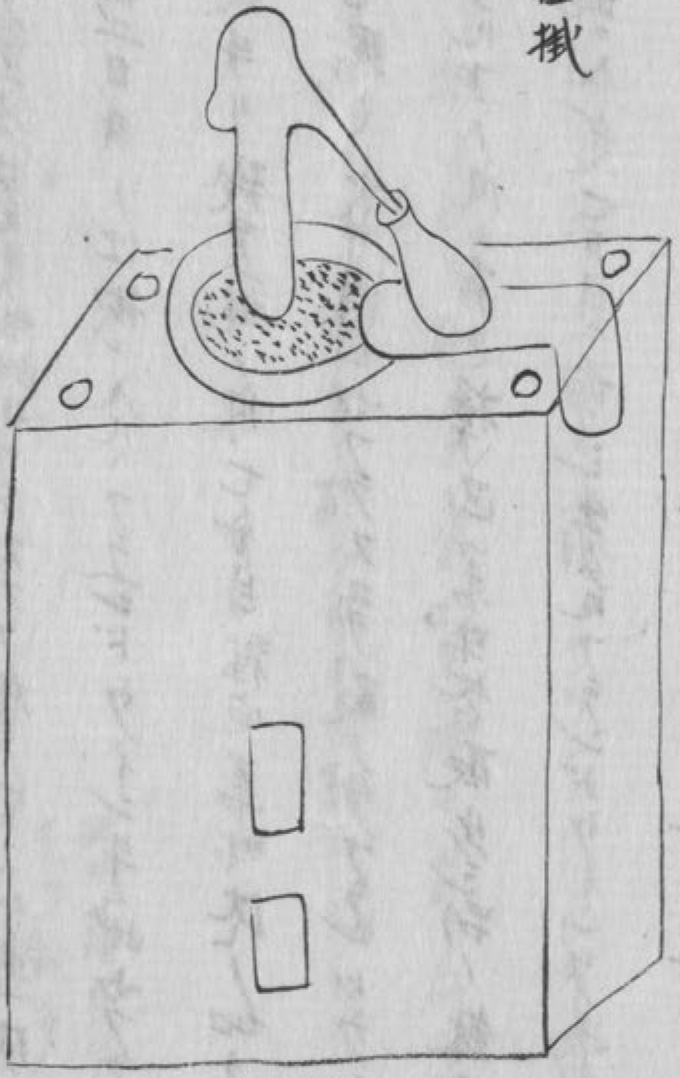
一 風口ニ火ヲ仕掛ル丁 朝六ツ時分炭一升程風炉ノ内ニ入火ヲ吹付四ツ九ツ
時分ニ砂ヲ手引加減ニ温ルし 七ツ八ツ時分ニハ火消ルし 又暮六ツ時分ニ如朝
炭ヲ入火ヲ仕掛ケ置ハ又砂夜中温ルし 如此昼夜共ニ火気不絶様火ヲ盛
ル火ヲ強クスル丁ナカレ 火気強ケレハビイドロノ罏損スルモし

一 二日目仕掛替ル丁 一コルフノ口ヲアケフランドウインヲ二合加ヘ蔽口ヲ紙ニテ包
ムし 火加減右同前

一 三日四日五日 此三日ノ間ハ不絶火消サル様ニスルし

一 六日目終日火ヲ止メ砂ノ熱火気ヲ醒スし

七日仕掛



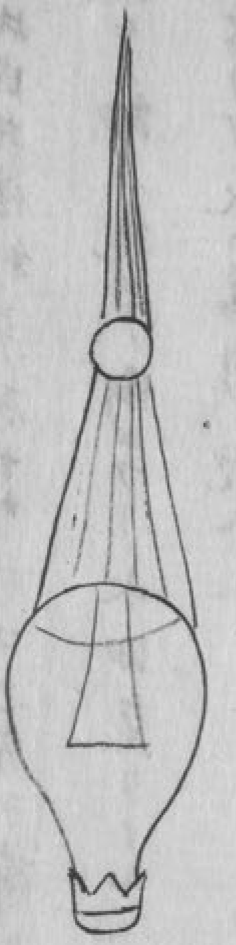
一七日目ノ朝コルフノ口ヲアケ如此筆ヲ蓋ニ此合目ヲ気ノ不出様ニ木綿切ニ
ナ麦ノ粉ヲ塗リ付ルし如此セフラスコヲ桶ノ白ニ入レ盥ハ炉ニ火ヲ入レ薬
味煮ヘ解右二日目ノ仕様ニ入ル、フランドウイン斗此セフラスコニ移リ甑ノ中
ニハ樟脳水斗リ残テ甑ノ内七分目程迄薬味沈ノ如クニ吹ルし其時薬
味煮ヲ工解ル験し火ヲ消シセフラスコヲ取ノケフランドウインヲ入置し

一八日目ノ朝コルフノ内ニ有之樟脳薬味皆取出シ別ノ鉢ニ入査ヲ去油計ヲ
此レクルノ甑ニ入レ又七日目ニ薬シ出タルフランドウインヲ半分程此レクルクニ入
砂ノ中ニ置如此セフラスコヲスケ置フラスコトノ合目気不抜様ニ包置し

一此甑置時鍋ノ中ノ砂ヲサシ除ケ此甑砂ノ中深サ七分程サシ入火ヲ発リ
仕様朝ニ入ルフランドウインヲ水ト此フラスコニ薬シ移メ火ヲ消シ醒ニオクし

一九日目右ノ甑ヨリ油皆取出メ初日入残リノフランドウインヲ皆此油ニ加ヘ如此
コルフノ甑ニ入ロヲ紙ニテ包ミ砂中ニ置右ニ隙キ置リ砂ヲ又入レ加減柔ニメ
甑ヲレツカニ温メ八ツ時分ニ砂ノ中ヨリ取出スし

一右ノ甑ヨリ油皆取出シメ初日入残ノフランドウインヲ皆此油ニ加ヘ如此コルフ
ノ甑ニ入ロヲ紙ニテ包ミ砂ノ中ニ置右キニ隙キ置ク砂ヲ又入レ加減柔ニメ
甑ヲレツカニ温メ八ツ時分ニ砂ノ中ヨリ取出スし



此口薄皮ヲキセククリ
皮ヲ針ニテ孔明ルし

一如此成丸德利ニテ底ナキし口之方ヲ薄キ皮ニテ包ミ其皮ニ針ニテ穴ヲ明ケ細キ縄ニテ倒ニツリ水油交リタル入レ下器ヲスヘ置ハ油ハ下ノ器ニ滴リカヽリテノ水ハ德利ニ残ルし

一阿蘭陀芙油製法并圖紙

Kitasato Memorial Medical Library